

## 9月定例会

# 討論

議案に対する討論について、主なものをお知らせします。

### 副市長の選任

#### 賛成

○民間から来られ、今の時代に合っており、加西市のためになっている。

○市長が副市長を選ぶ人事について、市長の裁量に委ねられている部分は尊重すべき。

○4年間の積み重ねがあり、新たな副市長を選任すること以上にメリットが大きい。

○e都市ランキング※、改革マニフェスト、職員の評価制度等、多くの分野において指導力を発揮し、成果を上げている。

#### 反対

○市の組織を運営するナンバー2として対外的な任務、職員との折衝や市民団体、市民組織へ

の浸透などがいま一つ。

○対市長との関係で力が弱く、職員の信頼も勝ち得ておらず、議会との調整役の行動も見られない。

#### 採決結果

賛成11、反対6で可決

### 監査委員の選任(議会選出)

#### 賛成

○行政側と議会側の事前調整が問題になっているが、法にのっとって提案されてきた議員が適切か不適切かを判断すべき。

○提案された議員は議員の中でも監査委員を任せてもいい第一人者。

#### 反対

○監査委員選任における手続きは全国の多くの自治体でとられている推薦手続きで、今回は市長の推薦を踏まえて人選したものの。

○監査される側が監査委員を2名とも選任して提案するのはどうか。

#### 採決結果

賛成6、反対10で否決

### 教育委員会委員の任命

#### 賛成

○教育行政学、教育財政学の専門家であり、教育制度、学校経

営、学校危機管理、魅力ある学校づくりについて大学で講義するだけでなく、県内外の市町村とのかわりの中でも教育変革を指導されており、新しい角度での教育委員会が展開される。

○いま加西市では学校統廃合問題を議論していかなくてはならない時期にあり、教育がどうあるべきか、地域にとつてどうあるべきかも踏まえて議論していくためにプラスとなる。

○市内在住の人で加西の教育現場に一番近い人を選任すべき。

○外部委員として意見を聞くのはいいが、素人の委員会に入るべき人ではない。

#### 反対

○採決結果  
賛成7、反対10で否決

#### 賛成

○会社でも従業員を減らし、赤字の事業を削り、次の時代にふさわしいトップの右腕を置く。

○同じ人口の小野市は2人置いている。

### 副市長定数条例

#### 賛成

○費用対効果が不透明。

○加西市の課題と足りない能力分野を照らしあわせて、その分野に長けた副市長がほしいとす

#### 反対

るべき。

○業務の分担をしっかりとしないと副市長を多くしても市長の仕事のスピード化にならない。

○2名以内という上限値を設定する改正なら賛成できるが、2名を必置とする原案には賛成できない。

○財政が厳しい中、運営が大変なことは理解するが、職員と一体となって工夫して乗り切る姿勢を示してもらいたい。

○他市においても多くが設置されており、加西市は遅れている。

○社会福祉協議会のあり方委員会でも派遣は必要という要請も来ており、市民サービスの向上のためにも必要。

○社協でなければ派遣してはだめだというのはどうか。公共の利益の達成のために必要であれば、派遣は当然のこと。

○前回と全く同じ内容の議案で、議事を軽視している。

○職員を派遣しても、社協の体質を改善しなければ無駄だと思う。

○前回は全く同じ内容の議案で、議事を軽視している。

○職員を派遣しても、社協の体質を改善しなければ無駄だと思う。

○派遣の対象団体を規則で定めるところが問題。条例で社会福祉協議会を特定すれば賛成できる。

○なぜ急いで制定しないといけないのか。

○具体案件はないと言われながら、学校統廃合や病院経営問題まで具体的事例を並べられると慎重にならざるをえない。

○市民の意見を聞いて制定すべき。

○条例の必要性は認めるが、投票運動等の運用や、投票率、投票成立要件等、細かい点に対して賛同できない。

○常設型の住民投票条例は必要で、細部でつめていかないと行政側で再検討するより、議会として審議過程においてチェックする継続審査がいいと思う。

○採決結果  
賛成1、反対13、退席3で否決

○継続審査

○継続審査

○継続審査

○継続審査

○継続審査

○継続審査

○継続審査

○継続審査

○継続審査

○継続審査

○継続審査

※e都市ランキングとは・・・自治体の情報化の進展度を評価するもの。加西市は今年で全国で20位。